

かけはし

44 期生 No.9
2022 年 6 月 3 日（金）

「いじめ」について、みんなで考えました。

5 月 27 日（金）6 時間目の総合の時間に、各クラスで「いじめ」について考えました。日常生活にありそうな 10 の場面を例として、それぞれの行為が、「いじめといえる」のか、「いじめとはいえない」のか「どちらともいえない」のかを班で話し合いました。どのクラス、どの班も、みんな真剣に話し合い、よく考えることができていました。ここで、「いじめ」とは何かを、確認していきます。

「いじめ」の定義（いじめ防止対策推進法第二条）

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

つまり、「いじめ」とは

- 「行為を受けた者が、心や身体に苦しさや痛みを感じた」場合は「いじめ」となります。
- その人が「いじり」や「ふざけ」や「遊び」と考える行為であっても、その相手が「嫌だ」「つらい」「やめてほしい」と感じていたら、その行為は「いじめ」となります。
- やった人の「そんなつもりじゃなかった」ということは通用しません。相手が笑顔だったとしても、普段から仲良くしていたとしても、場合によっては「いじめ」になります。
- 人数、時間の長さ、回数、ケガがあるかどうかなどは関係ありません。1 対 1 でも、1 回だけでも、ケガがなくても、場合によっては「いじめ」となります。

全ての人にとって居心地の良い学校を目指して

もう一度、自分自身の言動と、周りの言動を見つめ直してみましょう。周りの人に嫌な思いをさせていることはないでしょうか。周りの人と一緒になって誰かに嫌な思いをさせていないでしょうか。嫌な思いをしている人がいるのを、見て見ぬふりしていないでしょうか。

全ての人にとって居心地の良い、安心できる学校をみんなで作っていきましょう。

「ふり返しワークシート」の一部を紹介します。

■いじめは、やる側ではなく、やられた側が不快に思ったり、いじめと思ったらいじめだと思っています。最初は少しふざけてやったつもりでも、相手がいじめと受け取ってしまうと大きな問題になるし、やられた人はそれが一生残るかもしれない。いじめはいじめでも、行動でするいじめや、言葉でするいじめもあって、両方、やられた側は一生残るかもしれない。

■私は今日の授業を聞いて、相手がいやって思った時点で「いじめ」だと思いました。授業をやっている時、私は全部に「いじめといえる」に丸をしました。班でまとめる時、みんな全然意見が違うので、まとめるのが少し難しかったです。その時、やっぱり一人ひとりの思っていることは全然違うんだなって改めて思いました。

■私は「いじめ」とは、相手がいやがっているのに、たたいたり、暴言をはいたり、けったりすることだと思いました。あと、自分が冗談でやったつもりでも、相手が傷ついているのであれば、それも「いじめ」だと思いました。そういう時は、しっかりと謝ることが大切だと思います。そして、誰かがいじめられていたり、暴力を受けていたりしたら、ただ見ている、もしくは見て見ぬふりをしているだけではなくて、少し勇気がいるけど助けてあげられる人になりたいです。一人で無理なら友達と一緒に注意したり、それでも無理なら先生に言うなど、すぐ行動に移せるようにしたいです。自分自身が「いじめ」をする人にはならないようにしたいです。

■冗談やノリなどで暴力をすることは、やられた側が辛いと感じたら、それはいじめになるし、加害者側に自覚がなくても、被害者側には一生の傷になると思う。もし、そのいじめに気付いていながら、見て見ぬふりをしていてもいじめと一緒にだし、それを笑いながら見るのはいじめよりも悪質だと思う。

■私は、いじめは残酷でとても怖いことだと思った。なぜなら、いじめは相手が嫌がることをして壊していくということだから。相手が傷ついているのを見て、楽しんだり笑っていたりするのは、人間として最低なことだけど、それを見て見ぬふりをして黙っているのも最低なこと。いじめる人も、いじめを見て見ぬふりをしている人もいなくなって、いじめを止めることができる人が増え、私自身もそうなれることができればいいなと思った。

■私は、いじめは難しいと思った。なぜなら、どれがいじめでどれがいじめでないか、判断しにくいから。もし、自分が相手を傷つける気がなくても、相手は知らないうちに傷ついているかもしれない。こういうことが、いじめに繋がっていくんじゃないかなと思った。

■ぼくは、「人が楽しくいれない空間」がいじめだと思いました。理由は、自分がもし楽しくないのに無理やりその場にさせられたら、誰にも相談できないからです。もしこのようなクラスの人がいたら、相談にのったり、しゃべってあげられる人になりたいです。

■相手は悪ふざけだと思うけど、やられる方が「いじめ」と思ったのであれば「いじめ」だと考えた。7番のように、みんなが〇〇しているから、自分も〇〇するとかではなく、周りに左右されずに、注意をしたり、先生に言えたらいいと思った。そして、自分がしている行動や発言などが、人を傷つけているかなど、そのようなことも注意していこうと思った。

■いじめとは、いじめられている人が少しでも傷ついたらいじめていることになると思う。いじめの始まりは、たぶんちょっとした嫌がらせやちょっとしたいじわるから始まって、そのちょっとしたが少しずつ積み重なって、どんどん嫌がらせやいじわるがひどくなっていじめになると思う。いじめられている人が、やめてと言うのが難しいような雰囲気になるのがいじめだと思う。いじめている人は、いじめられている人が少しでも嫌がっていたら、謝ってすぐにやめることが大切だと思う。

■私が思ういじめは、1人の人にたくさんの嫌がらせや悪口などをやられたり言われることだと思います。それを、1人の人が1人でいじめているのも、たくさんの人が1人や2人をいじめめることも同じだと思います。そのいじめを周りの人が止めないのも、とても悪いことだと思います。私が知るところでは、いじめは起きていませんが、いじめをする人がいれば注意していきたいし、平和がいいです。

■自分がノリでいったとしても相手はどう思っているか違いがあることがわかった。班どうしの意見をきくと異なった意見もけっこう出て、やっぱり1人1人が違うことを思っていると感じた。なので自分がノリでいったとしても、相手はどう思っているかしっかり相手の気持ちによりそって考えながら発言・行動をしていけば、いじめていると感じる人はいなくなり、いじめを受けていた人もよい気持ちになると考えたのでこれからは、相手の気持ちによりそってあげられる人になりたいです。

■自分が軽い気持ちで言った言葉や行動も相手には重く、苦しいものであるかもしれないので、言動は気をつけないといけないな、と改めて思いました。話し合いでは、みんな意見も考え方も違って、もし自分が嫌な思いをすることがあったら、相手が気付いていないことかもしれないから、直接想いを伝えるのがいいのではないかと考えました。私の周りでまだいじめなどは起こっていないけど、誰かが誰かの言動で傷ついてしまうということがこれからも起きないように、クラスや学年などで、仲の良い、いい雰囲気をつくってあげたいな、と思います。そのために、自分も言動には気をつけて生活していきたいです。

■ふざけでもちゃんと相手を思いやって発言する大切さを改めて知りました。あと、言葉遣いには気をつけようと思いました。冗談でも暴言を吐いて誰かが傷ついてしまうのはとても良くないと思いました。他にも授業中の声かけも優しくできるようにしたいです。あと、中学になると人間関係がどっと難しくなってしむので必ず苦手な人ができるはずです。そのときあきらかに冷たい態度をとったり、陰口を言ったりしないようにしたいです。私は陰口とか周りに合わせることはできないので、あわせずに少しだけ注意したいです。私も周りに合わせるクセや、すぐに手が出てしまうクセを何とかしたいです。

■班の人の意見を聞いて、ほとんどの問題が、全員同じにはならなかった。そうなって「1人1人いじめのラインはちがうんだな」と感じた。そのように感じたから「これがいじめで、これがいじめじゃない」そういうことじゃなくて、やられた側の人が「痛い」「やめてほしい」と思ったならそれはいじめになってしまうんじゃないかと思った。でも、1人1人が思っている「これがいじめ！」は違うから、もし自分が、いじめじゃないと思っていて、いたい、やめて、と言われたり、そういうそぶりを見せたら、素直にやめて、しっかり謝らないといけないな、と今回の活動で気づいた。

■私はいじめの中で、特に言葉の暴力が嫌だと思いました。相手が傷つくような言葉を言う以外にも、遠くでひそひそ悪口を話していたり、容姿のことに対して不快なことを言うなど、私はそんなことがあっていいわけがないと改めて思いました。

■いじめは体も傷つくけど、一番傷つくのは心です。身体の傷は治るけど、心の傷は治らない。だから、いじめは絶対してはいけません。いじめをした後に後悔するのは、いじめた人です。いじめられた人の心の傷は治らない。どんだけ謝っても治らない。今自分がしていることがいじめかもしれない。考えて行動しようと改めて思いました。

■いじめというのは、相手はいじめだと思っていないということが多いと思います。なぜなら相手からしたらなにげない一言や行動だと思うからです。ですがその何気ない一言で人を傷つけるのをいじめだと思います。

■様々な班の意見を聞いて、いじめとは相手がいやだと思った時点で始まっているものなんだと思いました。はじめは、笑ってたたかれたりすることはふざけてやったことだと思っていたけど、ちょっとした遊びがいじめにつながることを知りました。たくさんの例があったけど、全部嫌だと思ったらいじめにつながるから、友だち関係には気をつけないといけないと思いました。自分がされていやなことを友だちにしていけないし、度のすぎるふざけは気をつけたいと思いました。誰かをいじめてはいけないし、それを見てるだけでもよくないので困っている人がいたら助けてあげたいです。